



介護老人保健施設(老健)とはどんな施設？

「介護老人保健施設(老健)」は、介護を必要とする高齢者の自立を支援し、在宅への復帰を目指すために、医師による医学的管理の下、看護・介護といったケアはもとより、リハビリテーションや栄養管理・食事・入浴などの日常サービスまで併せて提供する施設です。

今回は入所と通所(デイケア)に分けてお話しします。

入所について
説明します。

アドバイザー



吉村利枝
よしむらりえ
昭和62年筑豊看護専門学校卒業。
昭和63年4月より鞍手町立病院勤務。平成30年4月より鞍寿の里看護師長。

《入所基準》

老健を利用できるのは、介護保険法による被保険者で要介護認定を受けた人のうち、病状が安定していて入院治療の必要がない「要介護1」以上の人です。医師の常駐や、看護師による24時間体制での管理が行われていて、医療依存度の高い人でも安心して入所することができます。

《メリット》

- ①最大のメリットは、リハビリサービスの質の高さ。専門的な資格を持つスタッフが指導を行います。
- ②医師が常勤、看護スタッフも一定数勤務している。看護師については夜間の常駐が義務付けられているわけではありませんが、24時間交代制で常駐しているところが多いため、経管栄養のような本格的な医療措置に対応できます。
- ③有料老人ホームなどに比べると費用が安い

施設利用を考える場合、利用者、家族の目的に合った施設を選ぶことをご提案します。ケアマネジャーに相談することも大切です。

《費用負担》

利用者負担は、原則として保険給付の対象となるサービスにかかった費用の1割から3割です(収入により異なります)。介護度、施設の設備や職員体制、施設基準などでも異なりますが概ね月額13万円です。

《デメリット》

- ①生活支援サービスやレクリエーションがやや少ない
- ②入居期間は原則3か月。3か月ごとを目安に、リハビリでの改善や回復が見られたか、施設の継続は必要かといった審査が入ります。審査の結果、回復したと判断されると退所となります。
- ③内服薬が制限される場合がある

《Q1. デイケアとは?》

通所リハビリテーションとも言われ、自宅から施設に通って、リハビリ、入浴、健康チェック、レクリエーション等のサービスを受ける介護サービスの1つです。

《Q2. デイケアとデイサービスの違いは?》

どちらも身体・生活機能の維持や向上、清潔保持、生活リズムの安定、家族負担の軽減等を目的としています。大きな違いは、デイケアには医師とリハビリ専門職が必ず在籍していることです。

《Q3. デイケアとデイサービスどちらがいい?》

デイケアは医療ケアに特化しており、その分、利用料金は高く設定されています。療養・退院後の機能回復を希望する人に向いています。一方、デイサービスは介護に特化しています。デイケアより施設が多く、利用料金も安く設定されています。食事や入浴など日常生活を優先したい人におすすめです。どちらも利用する場合は、要介護認定を受けていることが条件です。

通所について
よくある質問に
お答えします。

アドバイザー



田村昭美
たむらあきみ

平成4年鞍手町立病院勤務。透析、内科、外科、連携室、訪問看護を経て、現在、介護老人保健施設鞍寿の里通所リハビリテーション勤務。